

金沢市中央卸売市場 中長期経営戦略【概要版】

第1章 経営戦略の概要

(1) 策定の趣旨

- 近年、全国的に、人口減少等に伴う需要の減少や国内生産量や漁獲量の減少、市場外流通の増加などにより、卸売市場の取扱数量は減少傾向にあり、厳しい事業環境に置かれている。
- 一方、本市場においては、施設の老朽化が進んでおり、令和5年1月に策定した市場再整備基本計画に沿って、令和17年度末までの完成を目指し、市場再整備を推進しているところである。
- このような中、国の要請に基づき、平成28年3月に「金沢市中央卸売市場中長期経営戦略」（以下「経営戦略」）を策定し、産地の開拓や販売の強化、市場運営の効率化等に取り組んできた。
- 現経営戦略の計画期間が令和7年度で終了するため、新たな経営戦略を策定する。

(2) 計画期間

令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間

第2章 現経営戦略の取組状況

(1) 現経営戦略（H28年度～R7年度）の主な取組

- 市場内の物流効率化と省人化に向けた無人搬送車の実証実験（R6～）
- 集荷力向上のための全国の産地への出荷要請（毎年度実施）
北海道ホタテ、青森県りんご、兵庫県カンパチ、長崎県馬鈴薯 等
- 鷹の放鳥によるカラス等の防鳥対策（H29～、約25日/年）
- 場内等照明のLED化による電気料金の節減（H29～R6で約800台を入替）
- 旬の生鮮食料品の消費拡大や市場の認知度向上のためのテレビ情報番組やSNS等による積極的な情報発信（毎年度実施） など

(2) 市場事業特別会計の経営状況

(単位：百万円)

		H28決算	R4決算	R5決算	R6決算
当年度純利益	計画	169	141	139	155
	実績	156	51	31	30
企業債残高	計画	2,175	1,107	988	858
	実績	2,163	748	634	554

- ▶ 使用料収入の減少等に伴い、純利益は減となったものの、単年度黒字は確保
- ▶ 設備投資を最小限に抑え、新規借入を抑制したことに伴い、企業債残高は減

第3章 事業を取り巻く環境の変化

(1) 取扱数量の減少・取扱金額の増加

本市場の取扱数量は、青果、水産物ともに、流通環境の変化等により減少傾向にある。令和6年度は、能登半島地震や異常気象が大きく影響し、減少している。一方、取扱金額は単価の上昇により、青果、水産物ともに近年増加傾向にある。

本市場	H28年度	R4年度	R5年度	R6年度
青果取扱数量	88,905t	86,682t	83,609t	77,602t
青果取扱金額	262.8億円	251.1億円	257.6億円	274.0億円
水産物取扱数量	50,320t	37,207t	34,940t	32,679t
水産物取扱金額	520.2億円	515.3億円	489.7億円	502.6億円

(2) 流通環境の変化

生産者による直販やインターネット販売など市場外流通の多様化・拡大等に伴い、全国の卸売市場経由率は低下してきたが、近年は横這い傾向にある。

全国卸売市場経由率	H28年度	R2年度	R3年度	R4年度
青果	56.7%	52.2%	53.9%	50.5%
水産物	52.0%	45.7%	45.6%	43.2%

出典：農林水産省「令和6年度卸売市場データ集」

(3) 人口減少・少子高齢化の進展

本市においても徐々に人口減少・少子高齢化が進んでいる。今後も人口減少等に伴い、食料消費量の減少が懸念される。

金沢市	H28年	R4年	R5年	R6年	・・・	R17年予測
総人口	466,189人	459,916人	457,717人	455,759人	・・・	436,074人
高齢化率	25.5%	27.5%	27.7%	28.0%	・・・	31.2%

出典：R17予測は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(4) 観光入込客数等の増加

コロナ禍前の水準までに回復し、令和6年も大きく増加している。今後も県内の観光客の増加に伴い、“食”需要の増加が期待できる。

	H28年	R3年	R4年	R5年	R6年
石川県延べ宿泊者数	870万人	445万人	655万人	873万人	1,149万人

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

(5) 卸売市場法の改正（令和2年6月施行）

中央卸売市場への国の関与が薄まるとともに、国一律の取引規制（第三者販売禁止、直荷引き禁止、商物一致等）が大幅に緩和された。

- ▶ 各市場の特性を生かした戦略的取組の推進が求められている。

第4章 市場再整備について

(1) 本市場の施設概要

- 所在地 金沢市西念4丁目地内
- 開場年月 昭和41(1966)年7月 ⇒ 59年経過

(2) 再整備手法

- 青果棟を現市場外(湊3丁目地内の金沢港東部工業用地)に移転整備
- 水産物棟を西念4丁目地内の現在地で建替え

(3) 再整備概要

○目指す将来像

「金沢の豊かな食と文化を支え北陸のハブ拠点となる未来共創型総合市場」

○施設概要

		青果棟(湊3丁目)	水産物棟(西念4丁目)
敷地面積		約70,000㎡	86,116㎡
施設概要	構造規模	鉄骨造 地上2階建	鉄骨造 地上2階建
	付帯施設	関連棟、管理棟、立体駐車場	関連・管理棟(長寿命化改修)
	延床面積	約38,500㎡(新設)	約26,300㎡(新設)

○整備スケジュール

- 令和8～9年度 実施設計(青果棟)
- 令和10～12年度 青果棟建設工事【令和13年度供用開始予定】
- 令和11～12年度 実施設計(水産物棟)
- 令和13～15年度 水産物棟建設工事【令和16年度供用開始予定】
- 令和16～17年度 解体・外構工事

○建設事業費(概算)

約400億円(解体・外構工事、実施設計等を含む)

(3) 基本方針

現経営戦略の取組状況や事業を取り巻く環境の変化などを踏まえ、基本方針を以下のとおりとし、基本方針に基づき取組を推進する。

- 集荷・販売力の強化
- 流通の効率化と拠点機能の強化
- 品質・衛生管理の高度化
- 効率的・効果的な市場運営の推進
- 食文化の発信と魅力ある市場づくり

第6章 基本方針に基づく取組及び財政計画

(1) 基本方針に基づく取組

別紙参照

(2) 財政計画(収益的収支)

【主な前提条件】

- 市場使用料 取扱数量の見通し等を踏まえ算出
- 他会計補助金 原則、総務省が定める繰出基準に基づき算出
- 市場管理費 令和8年度当初予算額を基本とし、物価上昇等を加味
- 減価償却費 資産の償却開始年度、耐用年数に基づき算出
- 支払利息 直近の借入利率に基づき算出

(単位:百万円)

年度	R6決算	R7予算	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
経常収益	858	844	795	800	816	833	889	1,256	1,288	1,432	1,732	1,784
経常費用	835	825	758	772	771	802	905	1,297	1,643	1,703	2,275	2,370
純利益※特別損益含む	30	19	37	28	45	31	△16	△154	△355	△271	△689	△586

※市場敷地の活用等による新たな収入の確保や基金の活用、DXの導入等による業務の省力化など経営の効率化に取り組むことで、早期の収支均衡を目指す。

第5章 経営戦略の基本的考え方

(1) 経営方針

「北陸のハブ拠点市場として、市場機能の向上を図り、市場の付加価値を高めるとともに、経営効率化を推進することにより、持続可能な市場運営を実現します。」

(2) 取扱数量目標

令和17年度目標 【青果部】85,000 t 【水産物部】35,000 t

(参考) 令和5年度実績 【青果部】83,609 t 【水産物部】34,940 t

第7章 計画の進捗管理等

(1) 計画の見直し

本計画の中間時にあたる令和12(2030)年度を目途に、事業環境の変化や計画の進捗状況等を踏まえ見直しを行う。

(2) 計画の進捗管理

計画の進捗状況について、毎年度、議会へ報告を行うとともに、金沢市中央卸売市場取引業務運営協議会の審議等を踏まえ、計画の見直しや取組の改善等を図る。

基本方針 1. 集荷・販売力の強化

①集荷力の強化と産地の開拓

- 全国各地の産地への出荷要請等の実施
- 卸売業者による商品展示会等の開催
- 産地向けの市場見学会、産地とのコラボイベント等の開催

②販売力の強化と販路の開拓

- 飲食店等に向けた市場見学会・商談会等の開催（仲卸業者の販路拡大）
- 量販店・中食対応の強化（小分け包装や袋詰めなど加工機能の充実）
- 海外販路開拓に向けた調査・研究

③本市場の特性を生かした地産地消の推進

- 地場製品の消費拡大とブランド力向上に向けた広報の実施
- 地場製品の受入体制の整備と集荷促進

④卸売業者・仲卸業者の経営基盤の強化

- 卸売業者・仲卸業者に対する財務検査の実施
- 仲卸業者に対する専門家（中小企業診断士・社会保険労務士）による経営改善指導等の実施

基本方針 2. 流通の効率化と拠点機能の強化

①加工・パッキング、低温管理設備等の充実

- 加工作業の充実による市場機能の強化
- 空間の有効活用による保管効率の向上（移動式ラックの設置を見据えた施設整備）

②場内物流の効率化・高度化の推進

- 施設配置の最適化と作業効率の最大化（配送センター、冷蔵施設の一体整備など）
- 荷役動線を考慮した施設整備（フォークリフト等が円滑に通行可能な通路の確保）
- AGV等による場内物流自動化の検討・推進

③集荷の共同化や多様な輸配送など物流効率化の推進

- 集荷の共同化など市場間連携の検討・推進（ハブ拠点としての機能強化）
- 物流効率化に向けた多様な輸配送の研究（物流2024問題等への対応）

基本方針 3. 品質・衛生管理の高度化

①HACCPに沿った衛生管理の徹底

- コールドチェーンの確立に向けた施設・設備の整備（冷蔵・低温設備の整備）
- 市場独自の衛生管理基準の策定・運用（金沢市中央卸売市場版衛生管理基準策定）

- 衛生検査機関との連携による食品検査の充実
- 防鳥、防鼠、防虫対策の徹底（鷹の放鳥によるカラス駆除など）
- 廃棄物処理や清掃など施設利用ルールへの遵守・徹底（衛生・美化意識の向上）

②安定供給機能の維持・確保

- 監視カメラの設置等によるセキュリティの強化
- 災害に強い施設整備の推進（施設の耐震化・耐水化・耐風化など）
- 危機管理体制の強化（事業継続計画の見直しや防災訓練の実施など）

基本方針 4. 効率的・効果的な市場運営の推進

①市場事業者の人材確保・定着

- 人材確保に向けたインターンシップ等の実施
- 若手人材の定着の促進（市場で働く若手職員同士の交流促進）
- DXの導入による市場事業者の業務負担の軽減

②持続可能な市場運営に向けた経営効率化策の検討・推進

- 環境負荷低減とエネルギーコストの最適化（省エネ型設備の導入など）
- 市場運営業務の効率化の推進（ICTの活用や事務の簡素化）
- 現施設の計画的な維持修繕（優先度や費用対効果を踏まえた修繕の実施）

③市場敷地の活用による収入の確保

定期借地権方式での事業用地の貸付などの活用策を検討し、安定した収入を確保

基本方針 5. 食文化の発信と魅力ある市場づくり

①市場の機能・役割への理解を深める取組の推進

- 市民向け体験イベントの開催（市場見学、模擬セリなど）
- 市場公式ホームページの充実
- 子供や子育て世代に向けたPRの強化（小学生向けパンフレットの制作など）

②市場から広がる豊かな食文化の発信

- テレビ情報番組やインターネット等を活用した旬の情報発信
- 料理教室や試食会等の開催
- 市場の食材を用いた出前講座など食育の実践

③地域活性化と賑わいの創出

- 関連事業者や商店街等との連携による賑わいの創出
- 金沢の食文化を発信する賑わい機能の導入検討